

様式 3 技術開発課題完了報告書

青森県林(支)局

課題名	7. 岩質区分に適応した法面安定工法				
課題区分	自	主	開発期間 昭和 57~59	担当	土木課
目的	現地の岩石・法面に適応した法面安定工法を、過去の実施例等から調査し、今後の設計資料とする。				
結果	<p>岩質によって、切取り法面が、亀裂やはく離及び風化・侵食等より落石や崩壊を生じ、不安定な状態となっている場合がある。このうち箇所に對し、実施した工法と適応性について、管内2ヶ所、10工種、71例について調査したが、その結果は次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現地に適応しているもの 51例 (72%)</li> <li>2. 現地にやや適応しているもの 10例 (14%)</li> <li>3. 現地に適応していないもの 10例 (14%)</li> </ol> <p>適応していない10例は落石防止網、落石防護柵が大部分、岩石の崩落により破壊されたもの及び、トラス法面のベントナイト吹付(養生)が滑落したものである。</p>				
開発経過と調査内容	<p>1. 開発経過 57年度以降59年度にかけて施工してきた管内2ヶ所。法面安定工法について、57年度から59年度にかけて調査を行った。</p> <p>2. 調査内容 下表のとおり</p>				

工種	施工前			施工後			
	地質	断面	長さ	崩壊界	○	△	× 計
落石防止網	10種の岩石、粘り土、花崗岩、凝り岩、凝り岩、凝り岩	2分 ~8分	10m ~22	落石 はく離崩壊	例 17	例 3	例 5 例 25
落石防護柵	凝り土、花崗岩	3分 ~10分	10 ~40	落石 風化浸食崩壊	8	1	2 11
鋼鉄擁壁	凝り土、花崗土	6分 ~10分	10 ~28	風化浸食崩壊	1	1	- 2
トラス (人工張芝)	シス	6分 ~17分	12	風化浸食崩壊	1	-	- 1
サンブル	凝り土	6分	18 ~29	風化浸食崩壊	2	-	- 2
木敷法岸工	安山岩(凝り岩)	7分	9	風化浸食崩壊	-	1	- 1
むしろ張と トラス張併用	凝り土	2分	13	浸食落石崩壊	1	-	- 1
ワイヤー付	凝り土、凝り岩、凝り岩、凝り岩	1分 ~10分	4 ~40	風化浸食崩壊 はく離落石崩壊	12	2	- 15
ワイヤネット付	凝り土、凝り岩、凝り岩	3分 ~10分	2 ~57	風化浸食崩壊 浸食落石	8	2	1 11
ベントナイト吹付	凝り土、凝り岩	3分 ~5分	3 ~21	風化浸食崩壊 はく離崩壊	-	-	2 2
計					51	10	10 71

注) ○印は現地に適応している。△はやや適応している。×は適応していない。

評価及び普及指導  
施工後の経過年数が10年以内のものが多いが殆んどであり、十分な評価は行っていないが、しかし法面安定工法の適否についての判断は可能である。  
従って今後は、この調査結果を活用し、不安定な法面について岩質に応じた工法の指導を行うべきとする。